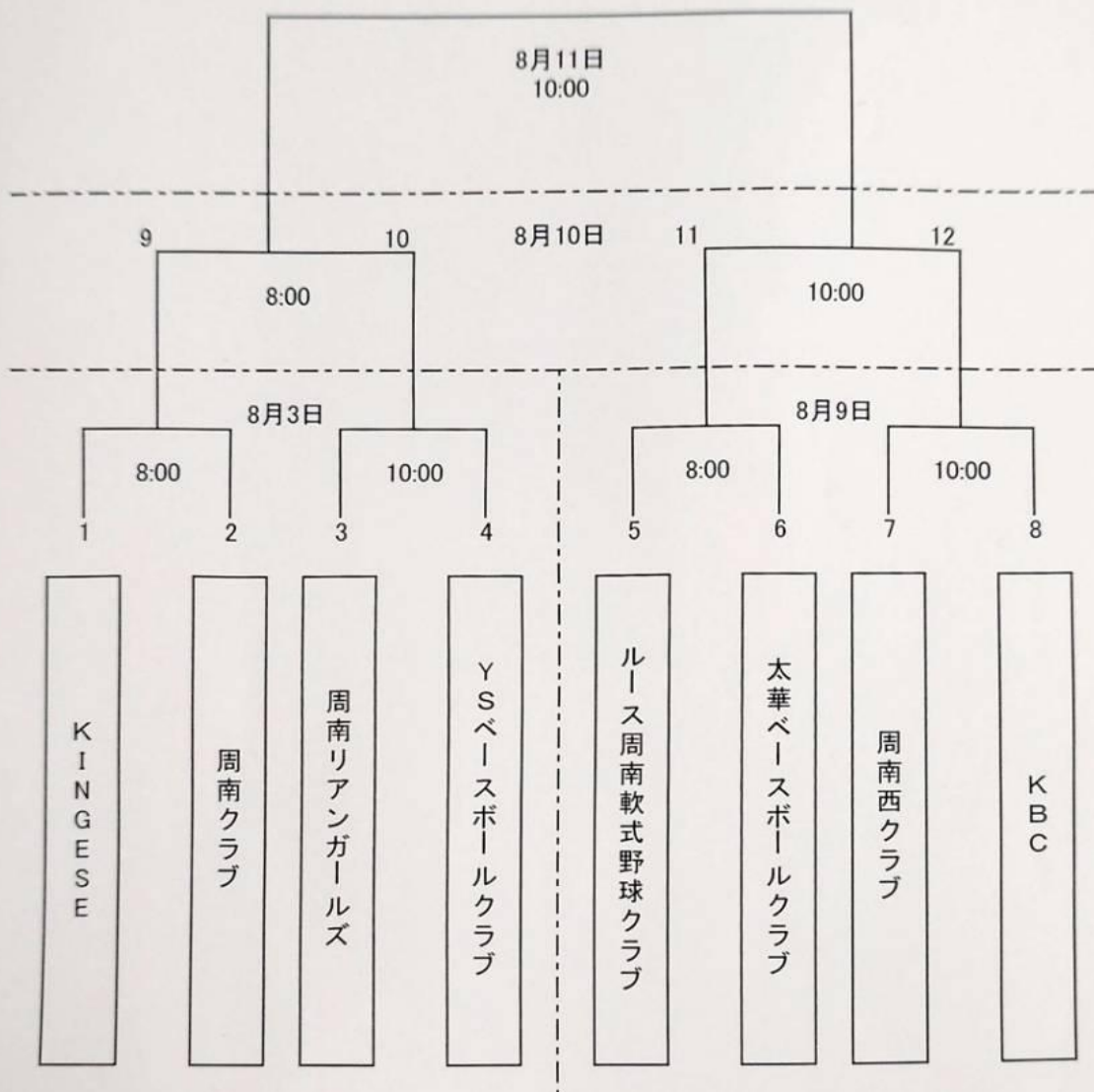


津田恒実杯軟式野球大会 TOSOHトーナメント 第13回 中学校大会

会期 2025年8月3日(日) 8月9日(土) 8月10日(日) 8月11日(月祝)

会場 津田恒実スタジアム



審判割当て表

学童大会 1回戦 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
1月26日	連盟	連盟	富田ク	LA周南	富田ク	LA周南
1月26日	連盟	連盟	徳中央	菊川	徳中央	菊川
1月27日	連盟	連盟	徳BC	太華Jr	徳BC	太華Jr
1月27日	連盟	連盟	YSJr	桜田	YSJr	桜田

2 試合目の各チームから2名

1 試合目の各チームから2名

学童大会 準決勝 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
8月2日	連盟	連盟	11	12	11	12
8月2日	連盟	連盟	9	10	9	10

2 試合目の各チームから2名

1 試合目の各チームから2名

中学校大会 1回戦 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
8月3日	連盟	連盟	リアン	YsBB	リアン	YsBB
8月3日	連盟	連盟	KING	周南ク	KING	周南ク
8月9日	連盟	連盟	周南西	KBC	周南西	KBC
8月9日	連盟	連盟	ルース	太華ク	ルース	太華ク

2 試合目の各チームから2名

1 試合目の各チームから2名

中学校大会 準決勝 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
8月10日	連盟	連盟	11	12	11	12
8月10日	連盟	連盟	9	10	9	10

2 試合目の各チームから2名

1 試合目の各チームから2名

学童大会 決勝 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
8月11日	連盟	連盟	連盟	連盟	中学校	中学校

中学校の決勝チームより各1名

中学校大会 決勝 (塁審2、塁審3はチーム名を略して明記)

試合名	球審	塁審1	塁審2	塁審3	BSO	球数
8月11日	連盟	連盟	連盟	連盟	学童	学童

学童の決勝チームより各1名

※塁審の欄に記載されている番号は組合せ表に記載されている番号を示す。

津田恒実杯 第13回 中学校軟式野球大会 TOSOH トーナメント

実施要項

適用規律 2025 年度公認野球規則及び全日本軟式野球連盟（以下、「連盟」という。）競技者必携並びに山口県野球連盟（以下、「県連」という。）学童部取決め事項を適用する。

大会規則 不正に関する措置等については、連盟規程細則および県連内規により対処する。

その他

- (1) 参加資格は中学生で構成された連盟に登録されているチームとする。また、傷害保険に加入している者とする。
- (2) ①正式試合7回戦、ゲームは7回戦であるが、暗黒、降雨などで7回までイニングが進まなくとも5回を終了すればゲームは成立する。ただし、健康維持を考慮し、5回終了以降、試合開始後2時間30分を経過した場合は、新しいイニングに入らない。
- (3) その日の第1試合に出場するチームは、試合開始時刻の30分前までに打順表（大会に参加予定者全員を記入したもの）を5部、監督と主将が大会本部に提出し、球審立会いのもと攻守を決定する。
- (4) 第2試合以降は、前の試合の4回終了時まで、打順表を大会本部に提出し攻守を決定する。
- (5) 試合開始予定時刻に関係なく、前の試合が終了次第、試合を開始する。試合開始時刻になっても会場に到着しないチームは棄権として処理する。
- (6) シートノックは行わない。
- (7) ベンチは若番を一塁側とする。
- (8) ファウルボール球の処理は、それぞれのベンチ側とし捕手の後ろ側は攻撃側で拾う。
- (9) 試合に出場する捕手は、連盟公認のプロテクター・レガーズ・捕手用ヘルメット・マスク（スロートガード・SGマーク付）及びファウルカップを着用すること。
- (10) 打者・次打者・走者・ベースコーチは、必ず連盟公認のヘルメットを着用すること。
- (11) チームの代表者は競技者必携・規則書を常時携行のこと。（攻守決定時に持参する事。）
- (12) 得点差によるコールドゲームは、5回に達した場合7点差とする。
- (13) 投手の投球制限について
 - ① 1日100球以内とする。但し、試合中100球に達した場合は、その打者が打撃を完了するまでは投球できる。
 - ② 1日ダブルヘッダーの場合も、1投手1日100球以内とする。
 - ③ 試合中の投手が他のポジションに就いてから、再び投手に戻ることは可能です。
 - ④ ボークにもかかわらず投球したものは、投球数とする。
 - ⑤ タイブレークとなった場合。
「7回終了時の投手」が1日100球以内であれば引き続き投球することができる。すなわち、通算で100球以内とする。
- (14) 大会に出場するチームは、試合に出場できる選手10名以上25名であること。
- (15) 本大会の使用球は、主催者で用意する。

審判について

- (1) 球審は連盟審判員、塁審は別チームの相互審判員制とする。ただし、決勝戦は、連盟審判員で行う。
- (2) 相互審判員の服装は、黒または紺系のスラックスおよび帽子、白色のワイシャツ、黒系の靴とする。

その他

- (1) 表彰は、優勝チームには優勝旗、賞状、準優勝チームには賞状を授与する。
- (2) 本大会における不慮の事故は、各チームで対処すること。
- (3) 良いマナーを心がけ、相手チームや審判員に対する野次や中傷は慎むこと。
- (4) 各会場の美化にご協力をお願いします。